



Yoshiyuki Sakuraba

桜庭 喜行

Varinos株式会社
代表取締役

【会社所在地】〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目23-1

【事業紹介】DNA解析技術を活用したゲノム検査を開発し、臨床検査サービスとして全国の医療機関に提供。子宮内の細菌バランスを調べる子宮内フローラ検査を世界で初めて実用化した。



【PROFILE】

1972年生まれ
埼玉大学大学院 博士後期課程修了 博士(理学)取得
2001年 理化学研究所ゲノム科学総合研究センター 研究員
2008年 米国セントジュード小児病院 研究員
2011年 GeneTech株式会社 検査技術部長
2014年 イルミナ株式会社 エクゼグティブクリニカルセールススペシャリスト
2017年 Varinos株式会社創立 代表取締役(現任)

【創業年】2017年

遺伝子検査・ゲノム医療の実現が世界的に遅れをとっている日本において、きちんとしたサイエンスに基づく遺伝子検査を社会に普及させ、社会的課題となっている不妊治療に革新を起こすことを目指しています。

【座右の銘】 JUST DO IT!

日本でもゲノムテクノロジーを 自社開発できる ゲノム臨床検査会社を目指す

前職のイルミナ社では、次世代シーケンサーの技術を医療応用する市場の開発に携わりました。欧米をはじめ、中国や韓国でも新規のゲノム検査会社が次々と誕生してゆくを見ながら、日本だけが遅れてゆく状況を一体どうしたら食い止めることができるのだろうか?と悩んでいました。そんな中、社内で同じ悩みを抱える長井と共に、自分たちでゲノム検査会社を作るしかないという結論に至り、Varinos株式会社を創立しました。

会社の特徴

スピーディーに 最新の技術を市場に提供します

非常に速いスピード感で事業を進めて参りました。高品質な検査を開発・提供するための人材の確保にもこだわって取り組んでいます。NGS解析の実務経験が豊富なエキスパートを多数雇用することができており、情報解析のためのバイオインフォマティシャンや、情報解析とウェット解析の両方ともできる人材も確保して、国内の会社ではほとんど出来ていない、独自のゲノム検査項目を開発できる体制を整えています。

事業・サービスの強み

ゲノム検査で 生殖医療に革命を

弊社の「子宮内フローラ検査」は、これまで技術的に解析が困難であった子宮内の細菌バランスを高感度に検出することが可能であり、不妊治療・産婦人科医療においてまったく新しい市場を創出しています。弊社の検査の活用は不妊治療だけにとどまらず、子宮内膜炎や子宮内膜症、子宮頸癌、子宮体癌、早産の原因となる絨毛羊膜炎といった多岐にわたる大学の基礎研究にも利用されています。



▲検査に使用している次世代シーケンサー



▲子宮内フローラ検査 報告書の一例